

札幌社保協 FAXニュース

2008年 6月5日(木)
 社保協事務局 発行
 TEL823-0867 Fax821-3701
 E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
 http://www.sapporo-syahokyo.jp/

札幌社保協総会
 は、6月26日
 (木)18:30~
 菊水ビルです

後期高齢者は7割が保険料減? 国民の怒りの前に、政府に都合のよい調査結果を示す 札幌では低所得世帯のほとんどが負担増

年金収入	2人世帯後期高齢者保険料	収入比	軽減割合	2人世帯07年度札幌国保料	収入比
120万円	25,800円	2.1%	7割軽減	22,440円	1.8%
140万円	25,800円	1.8%	7割軽減	22,440円	1.6%
160万円	32,500円	2.0%	7割軽減	22,440円	1.4%
180万円	69,000円	3.8%	5割軽減	64,140円	3.5%
200万円	114,000円	5.7%	2割軽減	113,320円	5.6%

札幌市の07年度国保から、後期高齢者に移行した2人世帯の保険料を比較したものです。(夫婦共に75歳以上で、妻の年金が120万円以下で計算しています)

年金が夫婦で200万円以下の低所得世帯は、軒並み国保料より上がっています。逆に単身世帯では、国保料より下がる傾向にあります。



↑6/2 不服審査請求の提出

厚生労働省は4日、後期高齢者の保険料全国調査の結果として「7割の世帯が保険料下がった」と発表しました。しかし厚労省の調査は、モデル世帯を設けて各自治体に試算させたもので、札幌市の担当者も「示されたモデルの結果であって、全ての層や世帯の結果ではない」と述べています。

国保世帯の半数近くを占める法定軽減(7・5・2割軽減)世帯のほとんどが、後期高齢者保険料になって上がるということは、影響が大きいものです。国は都合のいい結果発表で、国民の批判をかわそうとしているのではないのでしょうか。

6.13年金支給日、 国会最終日宣伝行動

全道各地で年金者組合を先頭に、街頭・駅頭・銀行前で「後期高齢者医療制度廃止!」の宣伝行動を行います。

札幌大通宣伝

13日(金)12:10~13:00
 大通西3丁目
 市内各区でも行います。

税金・国保料・後期高齢者保険料など住民負担増 に対抗する学習決起集会

6月11日(水)

14:00~16:00
 道民医連会館 3階会議室
 (北区北14西3)

障がい者の社会参加を閉ざさないで

多くの障がい者団体が 議会へ陳情・請願

札幌市が障がい者交通費助成制度の「見直し」で、現行制度の利用条件を大幅に制限しようとしていることに、多くの障がい者は不安と同時に怒りでいっぱいです。

「これでは病院や作業所に通えません」と、今回の市の提案をやめるように訴えています。

市議会には透析を受けている患者団体や精神障がい者の団体など、多くの団体が陳情や請願を提出しています。

交通権を考える連絡協議会、障害者の生活と権利を守る道連絡協議会も「障がい者の生活実態に見合わない今回の見直し案は一旦白紙に戻し、障害者・事業者、関係団体も交えて再検討して下さい」と陳情を提出しています。

陳情の趣旨説明

6月10日(火)13:00~ 市役所18階第2特別委員会室
 多くの方の傍聴と激励で市への抗議を示してください。

↓5/25 市の説明会の様子

